

日本の各都市におけるシェアサイクルの在り方

株式会社ドコモ・バイクシェア



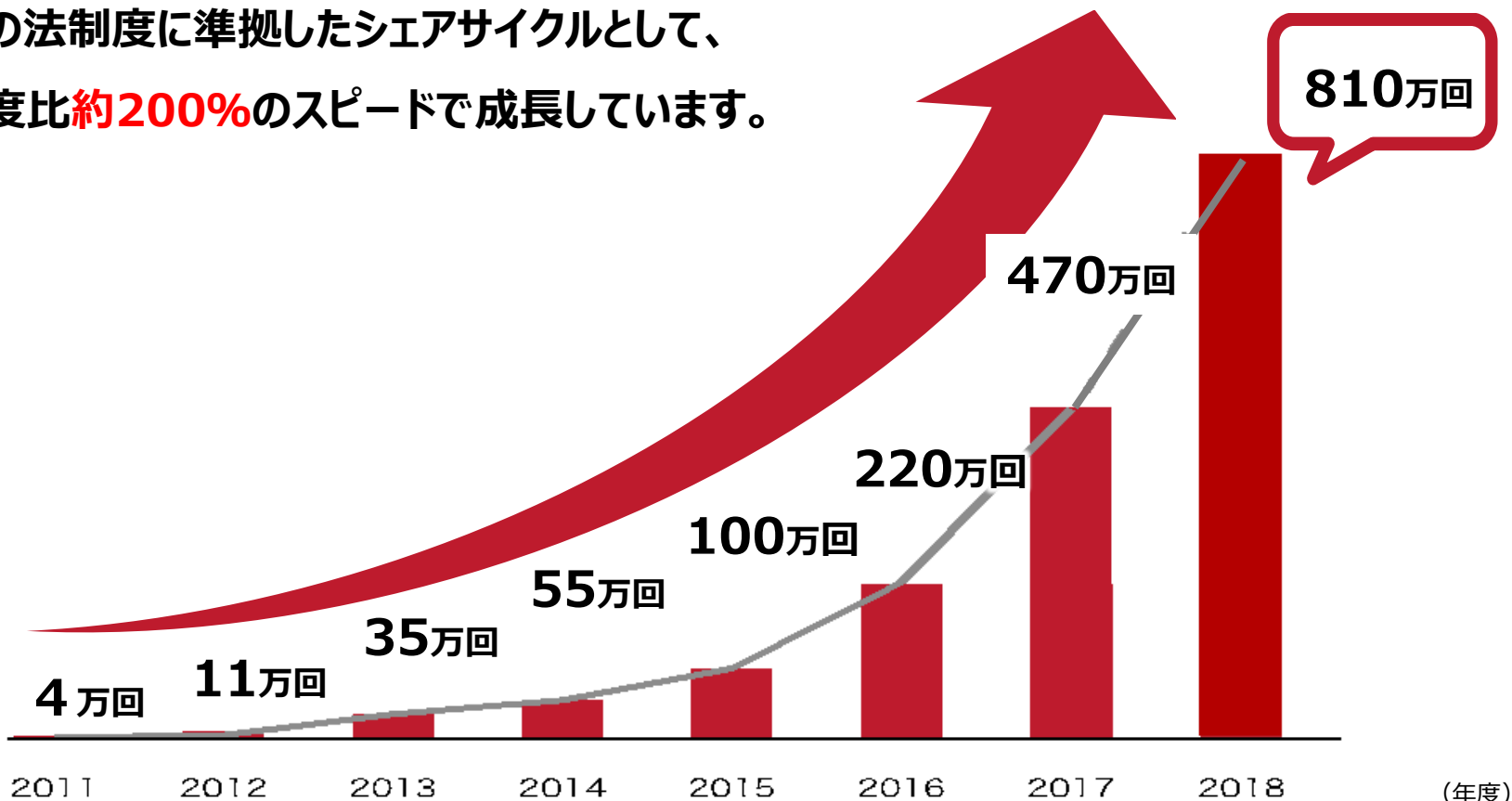
ドコモ・バイクシェアの利用状況



2011年4月、横浜市で開始。

それから8年。

日本の法制度に準拠したシェアサイクルとして、
前年度比**約200%**のスピードで成長しています。



※利用回数はすべて直営分のみ

エリア別シェアサイクル導入状況



全国**29**エリアで 自転車約**11,600**台・サイクルポート約**1,310**カ所・会員約**59**万人（直営）

※2019年6月末時点

直営エリア

エリア	名称
千代田区	千代田区コミュニティサイクル
中央区	中央区コミュニティサイクル
港区	港区自転車シェアリング
新宿区	新宿区自転車シェアリング
文京区	文京区自転車シェアリング
江東区	江東区臨海部コミュニティサイクル
品川区	品川区シェアサイクル
目黒区	目黒区自転車シェアリング
大田区	大田区コミュニティサイクル
渋谷区	渋谷区コミュニティサイクル
練馬区	練馬区シェアサイクル
仙台	仙台市コミュニティサイクル「DATE BIKE」
横浜市	横浜都市部コミュニティサイクル「baybike」
広島	広島市シェアサイクル「ぴーすくる」
大阪	大阪バイクシェア
奈良	奈良バイクシェア
川崎	川崎バイクシェア

10
区
広
域
連
携

システム提供エリア

エリア	名称
神戸市	神戸コミュニティサイクル「こうべリンクル」
神奈川県西	Let's Bikeコミュニティサイクル
甲州市	甲州市レンタサイクル「ぐるりん」
池田町	池田町・損斐川レンタサイクル「養鉄トレクル」
奄美大島	あまくまサイクル
尾道市	おのみち コミュニティサイクル
大阪市	HUB chari
奥日光	奥日光サイクルシェア
沖縄	ちゅらチャリ
大分市	おおいたサイクルシェア
札幌市	ポロクル
名古屋	カリテコバイク

実施エリア	自転車台数	ポート
システム提供合計	約1,200台	約190カ所

実施エリア	自転車台数	ポート
都内合計	約7,700台	約740カ所
直営合計	約10,300台	約1,120カ所



1.何のために導入するのか

⇒混雑回避（緩和）、二次交通の補完、回遊性向上？、環境負荷軽減？

2.導入によって課題は解決されるのか

⇒「誰の、どんな困りごとが、どのようになる」の明確化、付加価値？

3.どのようなビジネスモデルでやるのか

⇒公設民営、民設民営？？、役割分担、適切な自転車とポート、集客モデル、再配置

4.事業の継続性はあるのか

⇒関係者間における応分のリスク負担と収入、自治体・事業者の覚悟、運営能力

札幌におけるポロクルとの協業



2019年4月26日から、NPO法人ポロクルと協業し、札幌市内で自転車350台・ポート40カ所でサービスを開始。新アプリで提供中。



新アプリの使い方【借りる】



【ポート検索】



MAPから近隣ポートの場所・
自転車の有無・経路を確認します。

【ポート詳細】



ポートの詳細や
自転車利用可能台数が
確認できます。

【バッテリー確認・予約】



バッテリー残量を確認して予約。
自転車に開錠パスコードを入力し
利用開始。



※予約をしなくても登録済みICカードを利用し利用することもできます。5

新アプリの使い方【返却する】



【ポート検索】



MAPから近隣ポートの場所を確認します。

【駐輪可否確認】



ポートに駐輪できるかを確認します。

※ポートの駐輪制限台数を超えると返却処理が行えません。

【利用履歴確認】



返却後は利用履歴を確認できるので安心してご利用いただけます。

平城宮跡など奈良市西部への観光客の誘因と渋滞回避、近鉄とJR駅間の補完

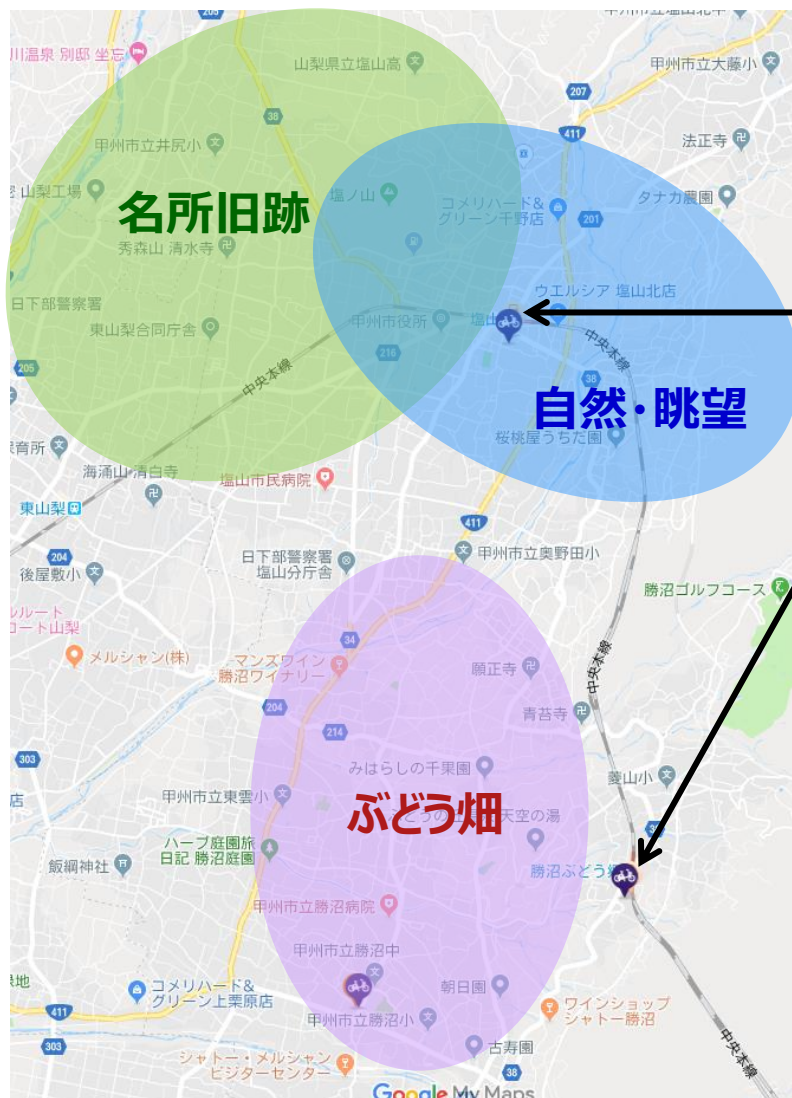


- ・近鉄奈良駅から東側に、有名な観光名所が多く、西側への回遊性が弱い
- ・市内が西から東に向かってゆるやかに登る地形となっており、電動自転車が有効

ぐるりん（山梨県甲州市）へのシステム提供



観光客に対する駅から観光施設への二次交通の補完、観光施設間の移動用として導入



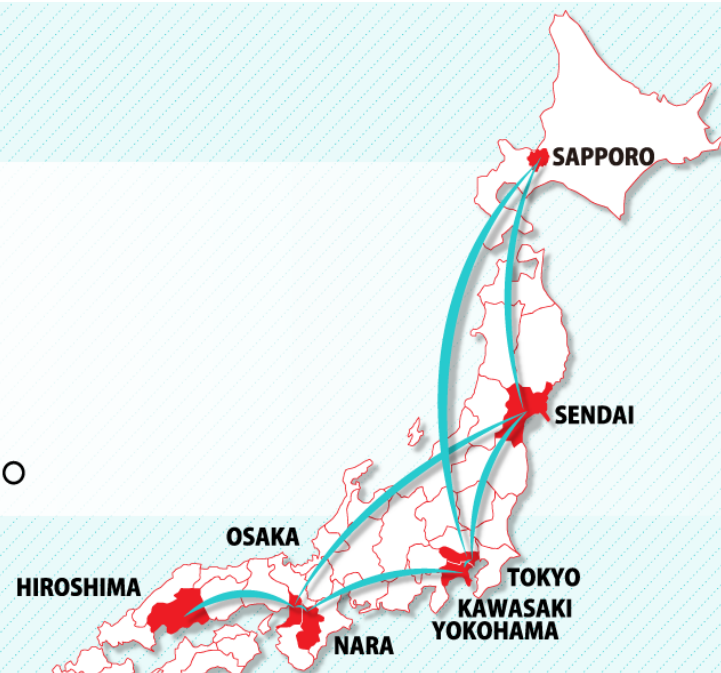
- ・甲州市の施策として、市内の2駅にポートを設置
- ・駅前でチケットの購入および自転車の貸出返却が可能
- ・観光客によるレンタサイクルとしての利用が多く、自転車の最適配置が必要なく、バッテリー交換もしやすい。

※甲州市制作のパンフレットを参考にドコモ・バイクシェアで作成



これまでサービスエリアごとに会員登録と個別のユーザIDが必要でしたが、2019年4月8日から、登録エリア以外のエリアにおいても、同一IDで「1回会員」として利用が可能。

出張先でも観光でも
いつものIDで
自転車を利用できます。





シェアサイクルの課題である偏りを解決する方法の1つとして、ドコモのAI技術を使った再配置の効率化を行っております。



経路検索アプリとの提携（NAVITIME、mixway）



経路検索アプリの検索ルートに、ドコモ・バイクシェアが対応。

・総合ナビゲーションアプリ 「NAVITIME」



「NAVITIME」
ルート検索結果一覧画面



「NAVITIME」
ルート詳細画面



「NAVITIME」
地図画面



「bike share」
トップ画面

・公共交通の複合経路検索サービス 「mixway(ミクスウェイ)」



JR東日本の「Ringo Pass」との連携



出発地から目的地までの「シームレスな移動」を実現するため、JR東日本が提供するスマートフォンアプリ「Ringo Pass」にSuicaID番号とクレジットカード情報を登録しておくだけで、ドコモ・バイクシェアの自転車が利用可能。現在モニタートライアル実施中。

①【会員登録】

アプリにメールアドレス、クレジットカード情報、SuicaID番号を登録します。



②【ポートを探す】

Ringo Pass アプリの画面で近くのポートと残り台数を確認できます。



③【開錠】

バイクシェアを利用する際に、登録した Suica をタッチして開錠します。



④【返却・交通費精算】

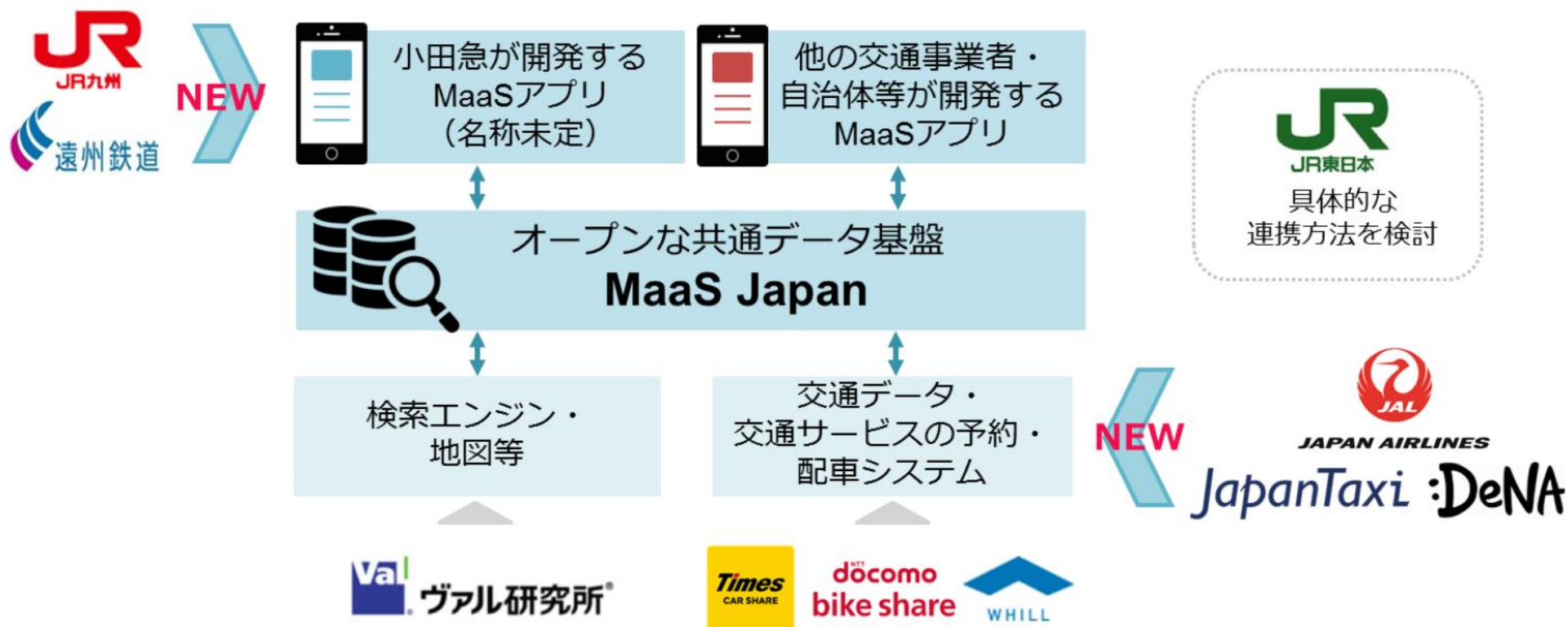
利用後、ポートに返却すると、返却完了メールが届きます。また、月間ご利用代金が、翌月初めにクレジットカードで決済されます。レシートはメールで届くので、そのまま交通費精算にご活用いただけます。



小田急電鉄の「Maas Japan」との連携

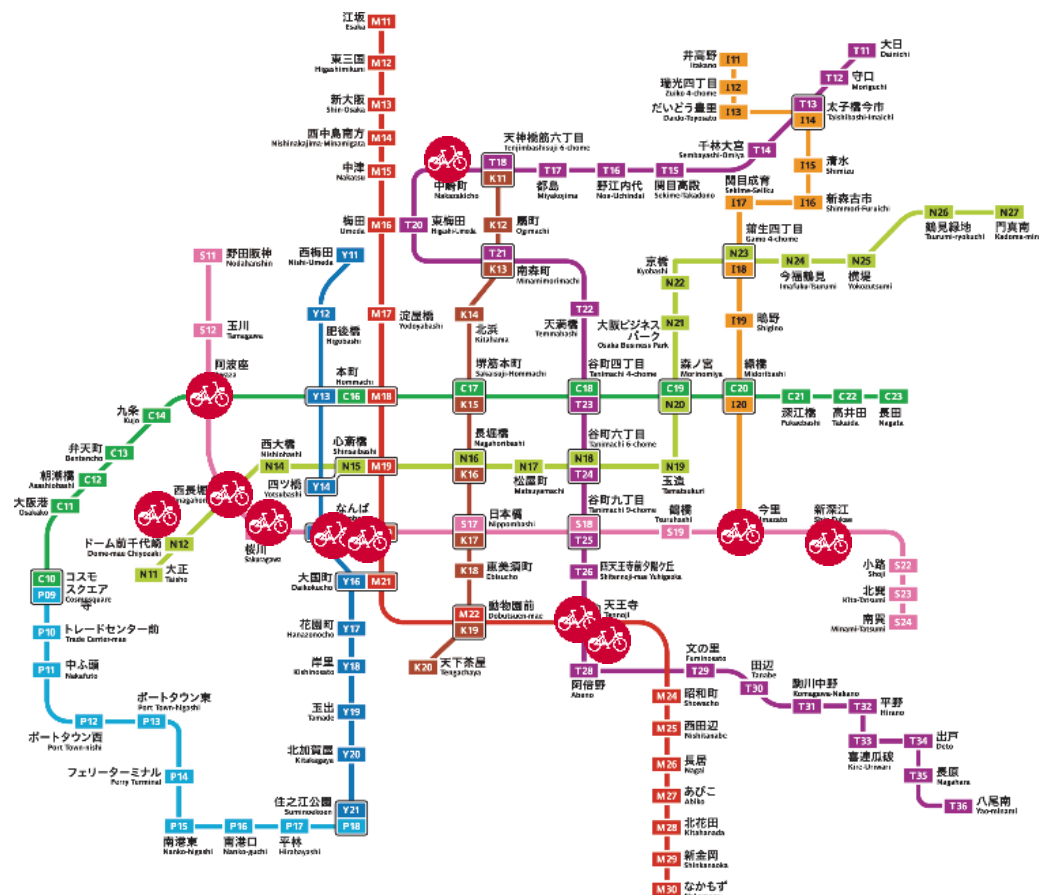


小田急電鉄が開発するオープンな共通データ基盤「Maas Japan」と連携により、Maasアプリ提供者による、シェアサイクル・鉄道・バス・タクシーなどの交通データや各種フリーパス・商業施設での割引優待をはじめとした電子チケットの検索・予約・決済などのシームレスな提供の実現をめざす。



※2019年5月27日、小田急電鉄のプレスリリースより

「なんば駅」「天王寺駅」「阿波座駅」など
11ヶ所にサイクルポート開設





品川区とドコモ・バイクシェアは、2018年9月1日に「災害時におけるシェアサイクルの使用等に関する協定」を締結しました。

締結の目的

災害時の応急活動等に関わる職員の緊急移動手段として
シェアサイクルを活用する

具体的な事項

専用ICカードの防災活動拠点への配備

- ・1枚の専用ICカードで複数台の自転車が貸出可能
- ・サイクルポートがサービス中断している場合でも自転車の貸出が可能



(2018.9.12 日本経済新聞)